



平成29年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月15日

上場会社名 大倉工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4221 URL <http://www.okr-ind.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高浜 和則

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートセンター経理部長 (氏名) 長尾 誠司

TEL 0877-56-1111

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	20,784	1.5	1,406	83.1	1,360	99.3	943	120.3
28年12月期第1四半期	20,473	4.1	768	208.1	682	303.7	428	289.7

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 1,212百万円 (%) 28年12月期第1四半期 760百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	15.82	
28年12月期第1四半期	7.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	80,324	41,028	51.1
28年12月期	82,434	40,414	49.0

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 41,021百万円 28年12月期 40,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		10.00	10.00
29年12月期					
29年12月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,500	2.5	1,900	10.5	1,900	6.1	1,350	5.0	22.64
通期	86,500	0.5	3,900	17.2	3,900	16.2	2,600	3.7	43.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期1Q	62,074,351 株	28年12月期	62,074,351 株
期末自己株式数	29年12月期1Q	2,459,254 株	28年12月期	2,454,547 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期1Q	59,617,624 株	28年12月期1Q	59,634,955 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記の業績予想に関する事項については、添付資料の2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米政治情勢等の海外動向に不透明感はあるものの、海外経済の改善に伴う輸出の増加や底堅い個人消費の下支えにより、景気は緩やかな回復を続けてまいりました。

このような状況のもと、当社グループでは、地道な販売活動に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は207億8千4百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。

利益面では、増収に加えて新規材料事業における新工場の損益改善などにより、営業利益は14億6百万円（前年同四半期比83.1%増）、経常利益は13億6千万円（前年同四半期比99.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億4千3百万円（前年同四半期比120.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔合成樹脂事業〕

新規顧客獲得に向けて営業活動を強化した結果、売上高は121億6千万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。営業利益は原材料価格が当期首より上昇しているものの、前年同四半期比ではまだ若干下回っていることもあり、12億2千4百万円（前年同四半期比24.6%増）となりました。

〔新規材料事業〕

液晶パネルの大型化に伴い光学フィルムの販売数量が増加したことで、売上高は51億6千2百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。営業利益は販売数量の増加に加えて、新工場の生産性が大幅に改善したことなどにより、4億1千5百万円（前年同四半期比4億8百万円増）となりました。

〔建材事業〕

パーティクルボードがフロア関連向けを中心に堅調に推移したことにより、売上高は20億9千万円（前年同四半期比4.5%増）となりました。営業利益は販売数量の増加に加えて、減価償却費の減少などにより5千8百万円（前年同四半期比108.9%増）となりました。

〔その他〕

四国遍路逆打ちが終了したことにより、ホテル事業で前年同四半期のように特別な集客効果が無くなったことなどが影響し、売上高は13億7千1百万円（前年同四半期比5.6%減）となりました。それに伴い営業利益も1億3千7百万円（前年同四半期比2.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ21億1千万円減少し、803億2千4百万円となりました。その主な内訳は、投資有価証券の増加3億8千7百万円、現金及び預金の減少7億9千5百万円、売上債権の減少19億8千1百万円などによるものであります。

一方、負債につきましては、仕入債務の減少12億円、借入金の減少6億2千1百万円、法人税、事業税などの支払いによる未払法人税等の減少8億2千7百万円などにより前連結会計年度末に比べ27億2千4百万円減少し、392億9千5百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の増加3億4千7百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億6千9百万円などにより、前連結会計年度末に比べ6億1千4百万円増加し、410億2千8百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.1ポイント上昇し、51.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,473	6,677
受取手形及び売掛金	23,955	22,254
電子記録債権	2,409	2,129
商品及び製品	4,041	4,343
仕掛品	842	819
原材料及び貯蔵品	3,016	2,897
販売用不動産	98	80
繰延税金資産	205	326
その他	415	445
貸倒引当金	△21	△17
流動資産合計	42,437	39,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,041	16,053
機械装置及び運搬具(純額)	6,564	6,450
土地	6,472	6,493
建設仮勘定	1,100	1,261
その他(純額)	407	418
有形固定資産合計	30,586	30,677
無形固定資産	281	278
投資その他の資産		
投資有価証券	8,099	8,486
繰延税金資産	407	301
その他	695	685
貸倒引当金	△72	△63
投資その他の資産合計	9,129	9,411
固定資産合計	39,997	40,367
資産合計	82,434	80,324

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,176	13,975
短期借入金	4,934	4,961
1年内返済予定の長期借入金	2,894	3,017
リース債務	17	12
未払法人税等	1,200	372
設備関係支払手形	41	18
賞与引当金	—	623
その他	7,167	6,546
流動負債合計	31,432	29,528
固定負債		
長期借入金	5,609	4,837
リース債務	2	1
繰延税金負債	18	18
退職給付に係る負債	3,960	3,956
その他	996	953
固定負債合計	10,587	9,767
負債合計	42,020	39,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	21,194	21,541
自己株式	△839	△841
株主資本合計	38,042	38,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,460	2,730
為替換算調整勘定	170	168
退職給付に係る調整累計額	△267	△265
その他の包括利益累計額合計	2,364	2,633
非支配株主持分	7	7
純資産合計	40,414	41,028
負債純資産合計	82,434	80,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	20,473	20,784
売上原価	17,464	17,095
売上総利益	3,009	3,689
販売費及び一般管理費		
販売手数料	48	34
運送費及び保管費	667	699
給料	499	487
賞与引当金繰入額	155	193
役員報酬	70	66
退職給付費用	32	29
減価償却費	43	42
研究開発費	210	219
貸倒引当金繰入額	△0	△4
その他	515	513
販売費及び一般管理費合計	2,241	2,282
営業利益	768	1,406
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	2	2
雑収入	19	20
営業外収益合計	23	22
営業外費用		
支払利息	56	36
為替差損	41	20
雑損失	10	11
営業外費用合計	108	68
経常利益	682	1,360
特別損失		
固定資産除売却損	132	69
特別退職金	9	—
特別損失合計	142	69
税金等調整前四半期純利益	540	1,290
法人税、住民税及び事業税	335	478
法人税等調整額	△222	△131
法人税等合計	112	346
四半期純利益	427	943
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	428	943

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	427	943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,189	269
為替換算調整勘定	△4	△2
退職給付に係る調整額	6	2
その他の包括利益合計	△1,188	269
四半期包括利益	△760	1,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△759	1,212
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,928	5,092	1,999	19,020	1,453	20,473	—	20,473
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	—	1	122	123	△123	—
計	11,929	5,092	1,999	19,021	1,575	20,597	△123	20,473
セグメント利益	982	6	27	1,016	140	1,157	△389	768

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業並びに不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△389百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△389百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,160	5,162	2,090	19,412	1,371	20,784	—	20,784
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	0	137	138	△138	—
計	12,161	5,162	2,090	19,413	1,509	20,923	△138	20,784
セグメント利益	1,224	415	58	1,698	137	1,835	△429	1,406

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業並びに不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△429百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△428百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。